

基本事項

■合同

2つの図形で、

一方の図形を …移動させる
…反転させる などして

もう一方の図形と完全に重ね合わせることができるとき「合同」といいます。

合同な2つの図形で、

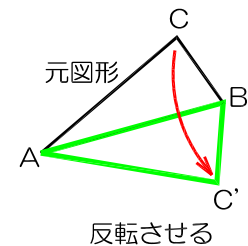
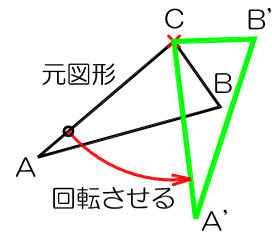
- …完全に重なる「点」を「対応する点」といいます。
 - …完全に重なる「辺」を「対応する辺」といいます。
 - …完全に重なる「角」を「対応する角」といいます。
- 「辺」の順、「角」の順にそれぞれ等しくなければなりません。

合同図形の特徴

- 1) 対応する線分の長さが等しい。
- 2) 対応する線分の角が等しい。

表示：

記号 $[≡]$ <例> $\triangle ABC \equiv \triangle A' B' C'$



■相似

移動して相似の位置におくことができる2つの図形は「相似」といいます。

相似の位置

定点Oと、2つの図形、図形D、図形D' の位置関係をいいます。

図形D上の点Aと図形D' 上の点A' が、

- 1) 3点 O、A、A' が一直線上にある
- 2) $OA : OP'$ が一定ある という関係が成り立つとき図形Dと図形D' は、「相似の位置」にあるといいます。

相似の中心：定点Oをいいます。

表示：

記号 $[∞]$ <例> $\triangle ABC \sim \triangle A' B' C'$

相似比は、 $\underline{AB : A' B'}$ $\underline{BC : B' C'}$ $\underline{CA : C' A'}$ です。

